

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	過疎地域等の農業・生活基盤の整備	事業番号、事業名	54 中山間総合整備			補助・単独別	補助	農政部農地整備課			
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
1	おんぼら さと 御柱の里	農業用排水施設 L=8,330m、農道整備 L=14,386m、ほ場整備 A=18.7ha、農業集落道 A=501ha、農業集落排 水施設L=3,450m、農村 公園 2箇所、生態系保 全施設 1式 〔工期:H13~H23〕	農業用排水施設 L=1,426m 農道整備 L=1,985m	農道整備 L=1,030m 農業集落道整備 L=366m 農村公園 1箇所	農道整備 L=1,030m 農業集落道整備 L=366m 農村公園 1箇所	必要性 B	93%	計画どおり進んでいる。 H23は農道整備、農業集落道整備、農村公 園の整備を実施する。	農業と観光を結びつ けて、活性化に取り組 んでいる地域であり、 農業生産基盤と農村 生活環境基盤を総合 的に整備を進めること が必要である。平成23 年度は、農道整備、農 業集落道整備、農村 公園の整備を実施し、 事業完了を図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 H21計画変更 活性化施設の減他 13億5200万円の減 B/C(費用対効果)=2.55				
					効率性 A						
					緊急性 A	住民参加状況等 水路などの維持管理や維持修繕を実施する委員会が組織さ れ、水路の維持管理を行っている。					
2	いけだとうぶ 池田東部	農業用排水施設 L=5,260m、農道整備 L=5,190m、農用地の改 良 A=7.6ha、農業集落 道 L=210m、活性化施 設 1式、交流施設基盤 整備 1式、市民農園 1 式、生態系保全施設 1 式 〔工期:H14~H23〕	農道整備 L=294m 農用地の改良 A=5.8ha	農道整備 L=860m	農道整備 L=860m	必要性 B	94%	H23まで工期を延期し農道整備を実施する。	遊休桑園を活用して 農業と観光を中心に、 活性化に取り組んで いる地域である。平成 23年度は、農道整備 を実施し、事業完了を 図る。	平成23年度での完 了を図る。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=1.13				
					効率性 A						
					緊急性 B	住民参加状況等 受益者が中心になり、水路の維持管理を行っている。 交流基盤においては、地域住民が維持管理を行っている。					
3	おたり 小谷	農業用排水施設 L=2,885m、農道整備 L=200m、ほ場整備 A=32.3ha、農業集落道 L=784m、営農飲雑用水 施設 L=3,040m、情報 基盤施設整備 1式 〔工期:H22~H27〕	農業用排水施設 L=235m 農道整備 L=189m	情報基盤施設整 備 1式	農業用排水施設 L=2,650m、農道整備 L=11m、ほ場整備 A=32.3ha、農業集落 道 L=784m、営農飲 雑用水施設 L=3,040m、情報基盤 施設整備 1式	必要性 A	3%	計画どおり進んでいる。 H23は情報基盤施設整備を実施する。	山腹水路の崩落が発 生し農業用水の安定 供給に支障を来してい るほか、ほ場は小区 画で機械化の障害と なるなど、地域農業の 振興のため整備が必 要である。	重要性が高く、必要 性、緊急性も認めら れる。	「継続」
						重要性 A	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=1.23				
					効率性 A						
					緊急性 A	住民参加状況等 完成後の水路等については、受益者が中心となって行う維持管 理体制が整っている。					
合計	3箇所	49億1000万円	3億5300万円	5億1800万円	16億960万円			A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満			